

地域コミュニティ型「ボトル to ボトル」 水平リサイクルの実証実験がスタートしました！

市内の商店街や学校など、様々な特性を持つ5つの地域コミュニティで集めたペットボトルを水平リサイクル※¹する「ボトル to ボトル」の実証実験を8月1日から開始しました。地域の皆様のご協力により実施することで、資源循環と地域コミュニティの活性化などを目指します。

ボトルの収集からリサイクルまでのスキームは、サントリーホールディングス(株)から共創フロントを通じて提案いただきました。同社とは7月 31 日に連携協定を締結しています。



1 今回の事業の特徴

地域コミュニティの拠点に横浜市がペットボトル回収機※²を設置し、地域の皆様にペットボトル回収に参加いただきます。回収したペットボトルは再びペットボトルに水平リサイクルします。

2 ペットボトル回収機設置場所

商店街	星川商店会（アンドウスポーツ）	保土ヶ谷区星川2-6-30
	金沢センターシーサイド名店会	金沢区並木1-17
小学校	横浜市長三保小学校	緑区三保町1867
大学	神奈川大学横浜キャンパス 8号館前	神奈川区六角橋3-27-1
駅	京浜急行金沢八景駅（ウィングキッチン金沢八景 3階）	金沢区瀬戸15-1

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 検証内容

- ・回収したペットボトルの質と量
- ・環境学習や地域における活用状況

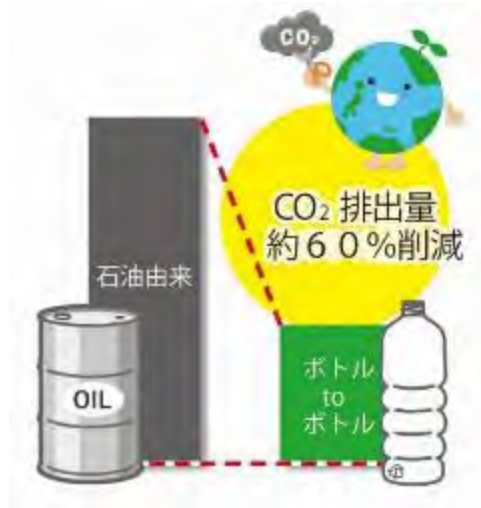
4 実施期間

令和7年8月1日(金)から令和8年3月 31 日(火)まで

※1 ペットボトルの水平リサイクル

「ボトル to ボトル」とは

ペットボトルのリサイクル手法の一つで、回収したペットボトルから新しいペットボトルを製造する方法です。新たに石油からペットボトルを製造する方法と比較して、二酸化炭素排出量が約 60%削減されています。



※2 設置するペットボトル回収機

- ・投入されたペットボトルを約 1/3 に自動圧縮して収集・運搬効率を向上させ、脱炭素効果を高めます。
- ・投入にあたってはキャップとラベルを外して軽くすいだものが投入可能です。
- ・ペットボトル回収本数などが画面に表示され、利用者が確認できます。



ペットボトル回収機 外観

お問合せ先

資源循環局 3 R 推進課長 今村 貴美

Tel 045-671-2563



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

